気になるクリニックのこと

教えて! Doctor

年齢とともに落ちにくくなるお腹の脂肪。
美容医療ではカラダにダメージを与えずにすっきり減らす方法があります。
高品質医療で定評のある聖心美容外科、伊藤康平先生に最新事情を聞きました。

教えてくれる先生

聖心美容外科
東京院院長
伊藤康平医師

いとう・こうへい●福島県立医科大学第二外科で外科学、救急医療、麻酔を修得後、聖心美容外科へ。多くの症例経験を積み、2006年に東京院院長に就任。確かな技術と卓抜したセンスに定評があり、リピーターも多い。

気になる美容医療 File 01

お腹

Q お腹の脂肪がとれにくくなっています。
脂肪吸引という方法は知っていますが、
恐怖心もあり、なかなか一歩が踏み出せません。
最新の方法にはどんなものがあるのでしょう?

最先端の痩身術はどこまで進んでいる?

夏にむかってどうしても気になるのがお腹まわりの脂肪。露出の多い服や水着をおしゃれに着こなすためにも、たるんだお腹を今すぐなんとかしたい! 最新の痩身術について教えてください。

「即効性を求めるなら脂肪吸引です。脂肪というのは、ヘチマのようなスポンジ状の線維の中にこびりつくかたちで存在しています。これまでの脂肪吸引法は、いってみれば脂肪を強引に砕いて吸引するというもの。私たちが取り入れている〈ボディジェット*〉という医療機器は、脂肪を吸引する管から水を噴射して、脂肪*をはがして吸引します」

でも、やっぱり怖いという気持ちが……。カラダへの負担は?

「水で線維や血管から脂肪をはがすので、カラダへのダメージが少ないというのが最大の特徴です。線維の中には細かい血管が張り巡らされていますが、その線維を壊さないのでほとんど出血がありません」

イメージどおりのウェストまわりが本当に手に入るのでしょうか?

「吸引する量や範囲にもよりますが、多くの場合は1回の施術で自分のイメージしているようなウェストまわりになります。たとえば下腹部といった小範囲の場合は20〜30分程度で終わってしまうんですよ。実際にやってみたら、思った以上に楽だったという患者さんの感想をいただいています」

吸引後のカラダの不安も一歩が踏み出せない理由。

吸引したあとの部分が凸凹になったり、腫れたりすることがあるとよく聞きますが。

「凸凹するのは、〝硬縮〟といって、カラダの生理現象のひとつ。線維のダメージが強いと、ところどころが硬くなって凸凹した状態になります。従来の脂肪吸引では回復するのに3〜4か月かかっていましたが、〈ボディジェット〉の場合、線維のダメージが少なく硬縮自体が起こりにくいということはいえます」

脂肪吸引以外にサイズダウンできる方法はあるのでしょうか?

「〈キャビテーションシェイプ*〉という超音波をあてて脂肪細胞を壊す方法もあります。これはダイエットしてもどうしても落ちにくい部分、または硬くなったセルライトを取り除きたいときなどに最適です。美容医療に足を踏み入れるのは大変なことですから、こうした入りやすい部分から試してみるのがおすすめです。

助けニック

技術とホスピタリティで患者の不安を解消。

全国8か所に展開する聖心美容外科が掲げているのは、「安心」、「満足」、「信頼」、「納得」、「安全」という5つの約束。術前のカウンセリングから術後のアフターケアまで終始一貫した高品質医療を提供している。全国すべての医院の受付では、カウンセラー、看護師が初めての患者の不安を和らげるホスピタリティをもって対応してくれる。

聖心美容外科 東京院●六本木
0120・456・528
0120・773・566(夜間)
●港区六本木6-6-9 ピラミデ2F 診療時間10:00〜19:00(完全予約制)、電話受付9:30〜20:00、夜間受付(新規予約のみ)20:00〜23:00

Key Word

＊キャビテーションシェイプ
特殊な超音波を気になる部分にあてて脂肪やセルライトを解消する部分痩身システム。メスを使用しないので施術時の痛みや腫れが一切なく、気になる部分のみをケアできる。

＊脂肪をはがして吸引
カニューレと呼ばれる管から水が噴射され、その水流の勢いによって脂肪を線維からひきはがす。分離された脂肪をカニューレから吸引するという仕組み。

＊ボディジェット脂肪吸引
ジェット水流によって脂肪細胞を分離させながら吸引していく最新システム。筋肉、神経、血管など周辺組織のダメージを最小限に抑えるため、カラダへの負担が少ない。

取材・文／石飛伽能